

刊夕日三月二



定価一冊五銭... 印刷所 常警毎日新聞株式会社

神占の示す

第六十五議會の成行

五聖閣主 熊崎健翁

軍備豫算、農村問題、赤字財政等、當面の重大事... 熊崎健翁

これを天意に質すべく筮を擲して『雷地豫』の卦の三爻を得ました『豫』は悦びを意味し、恰も春暖と共に雷氣が發動して、萬物生育の悦びが地上に訪れるといふ此の卦の象のやうに、和合悦樂を現はして居りますが今占つて得たのは此の『豫』の三爻であつて...

産褥の屏風まづしき柚家かな 金屏風見せて舞臺は静かなり 張り交せし屏風の中や孤々の聲 悠紀主紀の古風を染めし屏風かな 屏風面煙草にかすむ朝の床 正成のあぐ髭寒き屏風かな 金屏に三井の鐘きつゝ旅枕 銀房に欄の灯淡し京の宵 一つの代の煤け屏風や倉の隅

湖十湖十千鐘良紅秀 晴絲晴絲鳥樓亭果峰

状態になつて居るにも開らず、それは此の議會に於ては、單なる理想で終り、また軍備豫算、農村問題、赤字財政等に對しても、相當議論は賑はうであらうけれども、成果の期待さるべきものなく、政黨もまた飽くまで其の所信を貫徹しようといふ誠意を持つて居りません。そして政黨の信用は益々低く、自ら内部的崩壊の機運を醸成するの結果となりませう。

また此の『豫』の卦の三爻變は、『雷山小過』の卦となり、『小過』は其の卦の名の示すやうに、過誤、過亂、紛擾等を生ずるの意味があり、これは一部少壯議員の間に於て、豫算決後に現内閣を打倒せんとする運動があり、政府もまた解散断行を以て之に備へようとして居るといふやうな、若干の危機が今議會の内部に秘められて居るといふやうな裏面の消息を物語つては居るけれども、然し議會中は其處までゆかず、恐らく今議會は表面の賑やかなのに反して結局平凡な終りを告げるものと斷じて差支へありませんが、叙上のやうな神占を、政府、政黨、各議員が何の程度にまで動かすかといふことが興味の繫る處であります。

外科 門專 科線光X 上田外科醫院 平町南町 電話二一九番

吸入用酸素 純度99% 体温計 寒暖計

關内藥局 秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス 電話四〇番

謝恩と 奉仕。 燃ゆる大塚へ... 靴!! 五圓以上一割引

大塚製靴部 御用は 大塚の靴 平・田町 電話七十七番

最近産地かき具豊漁に... 魚清食堂部 電話六三三番

体温計の検査日です 10日 検査新設 お宅の体温計は? 西村屋藥局 電話三番

かまぼこ製造 平町一丁目

お惣菜用 さつま揚 吉原揚 不孫實 電話一四一番

匡救事業の前途如何は

平町に重大影響

繼續請願書の提出動議可決

種々な意味で地方を濡して居る匡救事業は現政府が陸海軍の軍備擴張による尤大なる豫算編成の犠牲として當然

打切りか大減額かの岐路に當面し各關係當局も事業遂行上に大滞滯を來してゐるが平町でも今後の匡救事業として遂行すべきものに

新町の道路擴張、材木町の縣社前貫通道路、南町星眼科醫院脇横町聯絡線第三小學校裏鎌田貫通道路、舊城趾北面坂路口開鑿、音工門坂より隔離病舎への道路開鑿、鍛冶町

南裏道路

その他、また夏井川工事の延長として平町の被害を根底から除去すべく

古川の 大改修を三十數萬圓の巨費を投じて施行する計畫案ある折柄匡救事業の前途如何は平町の重大問題であるとなし昨日の

町會の 席上に於て町議吉田寅之輔氏の動議により匡救事業繼續に關する陳情書を首相始め主務大臣、貴衆兩院に提出すること満場一致で可決されたので近く町長及び議長が右案文を起草して送達することになった

建國大行進

紀元節の當日に

第一校に參集

を大行進し建國の意義を徹底せしめんと

不動産の登記件數

既報平町では紀元節當日の建國祭の計劃に就いて本日午前十時より役場會議室に市内各學校團體代表者參集協議せる結果當日は午前十一時より第一小學校庭に各學校團體其他三千餘名が集會して學式後小鐵倉神社を參拜し三班に分かれて市内

平區才判所登記所及び昨年度の不動産登記取扱件數は五千九百四十一件を筆

青春の胸に

描く前途の光明

懐しの學び舎にいざさらば

卒業式日が決定

永き螢雪辛苦の功積んで新たな希望と大なる抱負を胸に描いて青春を過ぎし懐かしの學び舎に「いざさらば」と感激極まりなき別離の言葉を殘して「新生」への前途に出づる若人らの晴れの卒業式は三日を三旬の後に控へて遷たゞしくも

金錢兩替に

商工會が肝煎り

舊正月の初賣を控へて

平商工會では毎年舊正月二日の賣出しに際し各商店が釣りの補助貨幣少くなく非常に困却するのを鑑み今年度は常磐銀行又ハ

行と交渉して兩替する事になつたが希望者は来る五日迄兩替額を同事務所に申出られたいと

青年會館建設の

郡下負擔額決定

男子側に七百四十圓
女子側に四百八十圓

既報本縣青年會館の寄附割當は本郡に對し男子七百三十七圓五十錢、女子四百七十五圓二十錢、計千二百一十二圓七十錢と決定したので女子側は直ちに各町村に於ける負擔額を左の如く決定した、男子側は目下協議中である

- 平二七、五〇 内郷一七、五〇 湯本二五、三〇 小名濱二四、七〇 江名二一、四〇 四倉八、二〇 泉八、九〇 渡邊八、四〇 植田二五、〇〇 山田九、〇〇 錦九、三〇 勿來一〇、〇〇

德永博士が來平

濱通り地質調査の爲め

早大生十數名同行して

警女教諭山口彌一郎氏は去月二十八日目下築港工事中の富岡海岸に地質研究の爲め出張した際動物の化石を發見したので直ちに早大地理學博士德永重康氏の許に送付して鑑定を請ふたところ

右化石は此前發掘したのと同様カルニボラの化石及び海脈の齒である事が判明したが尚ほ德永博士は磐炭の四倉、玉山鑛泉、富岡邊の地質研究調査の爲め早大學生十數名を従へ三月二十五日六日頃平されると

種付牝馬檢診

上遠野、澤渡の三村に福馬種馬所より國有種馬を派して種付を行ふ前提として種付牝馬の檢査を左記日割で行ふ

田八三月十四日 上遠野 三月十三日 澤渡三月六日

警中弓道送別

弓道部では本日午後一時より送別會を開き卒業生九名に對し記念品として各視箱一ヶ宛を寄贈した

平町人事

△立町九七 當時豊間村字原町竹中與太郎氏三男正三
△北目十 當時北海道樺戸郡月形村字神岡鈴木喜八氏三女芳子
△立町九七 當時豊間村字原町七十竹中與太郎氏三男正三

印刷物の御用命は總て
常警日印刷株式會社
電話三六〇番

科人婦科外
院醫坂井

町田町平
番九五五話電

モヒ中毒患者が

のろひひの放火

昨曉福島炭礦の火事騒ぎ

昨二日午前二時頃赤井村字高萩の福島炭礦露局

治療室

屋根裏にアルコールをかけた脱脂綿に点火し放火を企てた者あり物音を聞き付け當直看護婦岡田キヨミ(二〇)さんと橋本シゲ子(九)さんの兩名が発見急を告げると同時に消火に盡力して大事に至らず消止めたが走せつけた當直警員は室内で未だマゴ／＼として居た犯人を取押へ其筋に突出したので

直に平署に押送取調べると犯人は同字居住茨城縣結城郡水海道生れ元福島炭礦坑夫杉山茂之助(三七)で同人は數年前同礦で労働中腹部に大怪傷を負ひ手術を受けて以來モヒ中毒となり解雇されたが中毒症状を起す毎に同露局で

寂な揚土臺の空気をふるはして響き渡つた、尙ほ近隣農村の人々は大雪は農作の吉兆とて大喜びで居るが雪も消えなばあらはれんでこの雪の后には若草萌ゆる歡喜の春が約束されてゐる河せ匆忙の舊年末にこれはま

注射を受けて居た處

最近では治療してくれなくなつたのを恨み放火したものであると

大雪の内見

歡喜の春を約束して……

降り積る豊年の貢

喜ぶ『風の子』達

寒も愈よ今日で明けやうとする時、平地方は昨夜からの降雪が些かの小止みもななく霏々として續き五寸近くも積つて晝近く漸く小止みとなつたが之は冬に入つて最初の大雪で第一小學校裏の長坂では竹の小片に兩足を乗せてさ／＼やかなスキーの妙味に耽つてゐる子供もあつた、松ヶ岡公園は櫻樹

が枝もたわ／＼に時ならぬ銀の花を咲かせ「馬をさへ詠むる雪のあした哉」とばかり氣早やな風流、宗匠連が「とさわ」『尼子亭』『春來亭』等に雪見の宴と洒落れこんだのも少くなかつたが石城福福内會の縣社々頭に於ける追儺祭豆まきはこの雪にもかゝわらず歳男か叫ぶ「福わ内、鬼は外」の聲が静

降る雪にめげず

通學兒童に奉仕

研古の青年三名が

踏切から校門迄の除雪作業

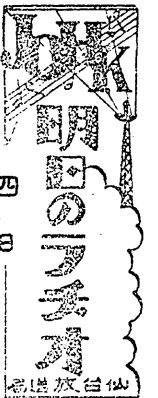
今朝降りしきる大雪にもめげず二十二、三才位の青年等三名が

古鍛冶町 踏切より俗

稱(エトトコ坂を)經て第一二兩小學校の校門に至る小學生通學路の除雪作業に精出してゐるのを登校途中の第二校職員が見て同校長津田達造氏にかくと報告したので同氏は感激し

右二青年に氏名を尋

ねたところ「自分達は兒童が此の大雪に登校するのを見て可哀想に思つた餘りやつたばかりですから」とて氏名を告げなかつたが研古



天の晩も明日も北西の風曇小雪

今晚の部

- 後六、〇〇(子供の時間) お話「節分」袖水卯馬
- 後六、二五基礎佛語講座(一八) 目黒三郎
- 後七、三〇時事解説 内務省警保局長 松本學
- 後八、〇〇節分追儺式賞況 浄土宗大本山増上寺より中繼 導師増上寺法主大僧正 道重保教 外一大衆
- 後八、四〇歌澤「梅が香」 「紀伊の國」唄 歌澤寅松
- 三味線 歌澤寅小満
- 後九、〇〇舞臺劇「三人吉三巴白波」片岡我童
- 後九、三〇時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

明日の部

- 前九、一〇營養料理献立 「新巻鮭主料理」諸のおろしかけ」副料理 營養研究所
- 前九、三〇子供の時間 ハーモニカ合奏東北學院 中學部ハーモニカバンド

流感の終熄近く

來週から授業時間復舊

既報平第一、第二兩小學校では感冒流行の爲め之れが豫防として去月十六日以来始業時間を午前九時に遅らせてゐたが一時猛威を振つた悪性感冒も漸く終熄期に近く兒童の出席状態も通常に復し殊に今日の降雪で幾分なりと緩和の見込みがあつたので來週より従前通り八時三十分始業に復すると

貧困救済

方面委員協議

平町では舊年末に於ける貧困者救済方協議の爲め來る六日午前十時より役場會議室に方面委員會を招集すると

豚肉歓迎

屠量第一位

平屠殺場で昨年中に處分した肉量を見ると豚が最も多く千九百一十頭此の金額が六萬七千四百五十九圓二七八錢、次は馬の三百八十五頭金額八千五百二圓四十八錢、牛が百三十一頭金額一萬三千九百九十二圓六十三錢である

危ないツ！氷滑り

長坂での兒童スケート

學校で斷然禁止

平第一小學校では同校裏の長坂が陽陰の爲め降雪ある度に氷結し通行者に難儀を掛けてゐるが兒童等は反つて大喜びで朝夕スケートに餘念なく危険此上もないので絶対禁止する様全校兒童に注意した

第一耐寒行軍

既報 寒流行の爲め延期されてゐた平第一小學校全校兒童の町内一周耐寒行軍は來る二十日行ふと

平職案紹介所報告

- △女工 三十迄 尋卒 給料面談
- △三助 五十以下 月八圓 位 外面談
- △給仕 十五才 尋卒 日給三十錢
- △兒守 十三前後 尋卒 月三四圓
- △商店雜役 十七才 高二 半退 給料面談
- △木工職 二十三才 高卒 給料面談
- △店員 二十七才 佑賢卒 給料面談
- △自動車運轉手 二十五才 中四修 給料面談
- △機械職 二十四才 高卒 給料面談

銘劍秘刃録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第四百十九回 徳川家に祟る村正

新兵衛も一旦自分の心得違ひからあんな者に手をつけ、今では後妻に直したのだ、誤りと申した處が最早六月のあやめ十月の菊、それは兎に角、親類へも話し竹内東庵先生、是が媒酌人で愈々四谷の名主八右衛門の二女おさくをめとる事になりました、纏まる縁は早いもので、吉日を選んで信濃屋へ嫁入りをする、年は十八でございます、誠に優美で、それに名主の娘といふので教育も届いて居ります、新藏も母の恨みを受けます、新藏も思ひましたが、現在の父と親類一同協議の上でございます、結婚の儀も滞りなく済み、扱て夫婦の仲も睦まじく朝夕兩親に孝行をして居ります、いよ／＼おそのも胸をいためてア、仕方がない、と思ひますから、ろくに嫁に口もきかない、新兵衛もア、悪い事をした、今の内にどうかしなればならない、別家させるか、金次郎に附けておそのを隠居させやうと思つて居りましたが、段々おそくなつて、その内におそくが懐妊、間もなく帯を以

たします、月満ちて産み落しましたるは女の子、名前をおまさと名づけましたてふ花よと、新兵衛は初孫を可愛がつてゐる、新藏も大きに喜び、唯朝夕心にかゝりますのは、一つ家に在りながら繼母のおその



一度でも孫をだいたこともなく、益々つるの呉越の思ひ、情ない事だとそのみ心配をして居ります、すると或日の事、新兵衛は留守新藏は店へ參つて居り、おそくは中の間で裁縫をいたして居ります、奥でおその

さんの家督相續は思ひもよらんこと、旦那さまは金次郎様を何處かへ養子にやると仰つしやつてゐらつしやる」
そ「それを私も心配してゐるんだが、どうかして鎌七の工夫はあるまいか」

は自暴酒を一杯飲んで只胸がムシヤ／＼して居るところへ、鎌七奥へソツト出て參りまして
鎌「御新造様御酒でございませうか」
そ「一杯のみでないか」
鎌「有難う存じます、まだ旦那はお歸りではございませぬか」
そ「殊によつたら旦那は今夜お歸りはるまい」
鎌「どうもお氣の毒でございますな、昨日今日かと思ふ内にもう新藏さんの方は嫁が来て子が出来る、このあんばいぢやいつぞやあなたがお話しなすつた金次郎

鎌「それでございませぬね」
そ「お前が一肌脱いで巧く往けば相當の禮をするが」
鎌「私も一旦乗り掛つた船ですからどうにでも致しとうございませぬが、どうもこの鹽梅ぢや新藏を放逐して金次郎の御家督といふ譯には行きませぬ、どうです御新造、一層の事新藏を殺して了つて……」
そ「大きな聲をおしてないよ、私もそれはとうから思つてゐるけれども何分女の事で彼を連れ出して殺すといふ譯にもいかず、鎌七どうか工夫はあるまいか」
鎌「それは又出来ない事もございませぬ、斯ういふと如何ですか、油断大敵といふ事がございます、新藏さんも仲々用心深い方でございますが、あなたが何か御馳走する、その中へ毒を入れて、そうして喰はしたらどうです」
そ「毒殺かい、けれどもね毒など無暗に醫者に頼んでも調合してくれず、殊に竹内は親類でもあり、新藏の媒酌人だし」
鎌「アノ馬鹿坊主に頼んでも逆もいけません、うつかかりした事をして、それから露見すると、私も主人を殺したといふ事になりまして三尺高い木の空で土手ツ腹く穴があきます、そんな危ないことは出来ませぬ、一層私の考へでは是から十日許りの間、裏の田圃へ參りまして毒虫を集めます」
そ「何だい、毒虫といふのは」
鎌「蝶、螻、おしやうろば

つた、かみ、ちよ、げぢぎぢ、蛇、蛙」
そ「それを如何する」
鎌「細かに刻んで蔭干しにして、新藏やおさくの食物の中へあなたが入れて置きます、それを喰へば死な、いまでも、そんなに毒虫を一度に喰へば堪りませぬ」
そ「成程これは宜い所へ氣が注いでおくれたね、それぢやお前その毒虫を集めておくれ、それを二人に喰はしてやるから」
鎌「就いては御新造、私が虫を拾ふのですが、いくらお呉んなさる」
そ「いくらといつて、どの位要る」

美味で！
評判の……
イワキ
サロン
電 352

ほしやなぎ
いかの鹽から
鱈の子

魚問屋
店理代平命生本日大最優最
榮 盛 賀 志
(三一二電)目丁四平

耳鼻咽喉科専門
氣管食道科
平南町
大和田醫院
(電話一七〇番)

理想の治淋薬出現す
一般賣薬、熱療器類に不満を感じた患後の良薬として本薬を紹介いたします。
●本薬は有り觸れた白檀油系統の平凡薬ではなく、独自の注射原薬を主剤とし外に洋薬及漢薬數種の特效成分と利尿薬が配合され特に胃腸腎臟障害等の副作用を絶無ならしめた安全薬で又錠劑で有ります。

強力殺菌内服注射原薬配合

ザロス

淋病 消渴

分用	¥2.00
用症	¥3.00
軽重	¥5.00

●發賣元不二藥品商會
平町田町(松月堂向イ)
特約店 阿部薬舗